

がん治療センター（仮称）構想

現在、日本人の2人に1人ががんになり、また、3人に1人ががんで亡くなっています。

近年のがん治療は高度、複雑化してきており、これに対応するため、当院では、がん治療の三本柱である外科的治療、放射線治療、化学療法を実施すると同時に、がん診断の中核である病理部門、画像診断部門を擁し、各臓器のがん専門医による高度ながん医療、質の高い集学的医療、チーム医療を実施してきました。

当院は、このような急激に増加するがん患者への対応とがん診療連携拠点病院としての高度な診療機能を充実するため、平成27年度に『がん治療センター（仮称）』を設置することとしました。

当院がん治療センターにおいては、これまで培ってきた高度ながん医療の更なる充実・強化はもとより、がんの相談支援・情報提供にも幅広く対応し、がん患者を含めた地域住民に対して安心・安全・納得できるがん医療を提供します。